

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	青森県
取組市町村名 取組団体・企業名	東北町保健衛生課
取組の名称	とうほく元気食材クッキング
実施時期	令和 6 年 10 月～1 月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	1. 取組みの背景と目的 町の健康課題として国や県と比較し子どもから大人まで肥満者が多く、成人では糖尿病予備軍が多い事があげられる。児童・生徒の家庭を対象にした食生活に関する調査では、朝食欠食は数名しかみられなかったものの、主食・主菜・副菜の整った朝食を摂っていない者が多い。また、近年は生活状況の多様化により、町の農林水産物を活かした郷土料理を体験する機会が少ないのも現状である。本事業では児童・生徒が成長に望ましい食生活を実践できるよう、知識の普及を図るとともに、町の食文化を理解し、食への興味、感謝の気持ちを育てるとともに弁当作りを体験することで食への興味、感謝の気持ちを育てるとともに自己効力感を高める事を目的とし開催する。 2. 目標 ①成長期の食事の大切さを理解する。 ②町の食文化を理解し、食への興味、感謝の気持ちをもつ。 3. 主催 東北町 4. 講師(スタッフ) 町管理栄養士、東北町食生活改善推進員会(3,4名)、学級担任(小学校の場合)、養護教諭、学科担任 5. 対象 ・小学校 6 年生(町内 3 校計 5 クラス) ・中学校 2 年生(町内 2 校計 4 クラス) 6. 実施内容 1) 元気食材クッキング: 児童・生徒が町の農産物(副菜)を使った料理一品をグループで考案、調理し、給食の時間に試食する。 ① 事前授業(1～2 コマ) ・成長期と食生活についての授業・グループワークでレシピを考える ② 調理実習(1～2 コマ)

	・事前授業で考えたレシピの調理、試食 2) 弁当づくりクッキング：児童生徒が調理実習で1食分の弁当をつくり、給食時間に試食する。 ③ 調理実習・弁当づくり（2コマ） ・事前授業は実施せず栄養士考案メニューを児童が調理する。 （主菜2品・副菜2品） ・調理後に弁当箱法のルールを説明し、弁当箱に詰めて試食する。 7. 事業の評価 事業実施後にアンケートを配布し、目標に対しての実施効果を評価する。
--	--